

■ ■ ■  
□原色版『伊太利所見』は遙々羅馬より寄せられしもの、原圖と同一大なり。『山百合』は奥州嚴美溪にて昨年七月寫生せしもの、一尺二寸に八寸。『夏の靖國神社』は八ツ切大なり。

□次號原色版は、水野以文氏の『夏の夕暮』。小林重三氏の『花の寫生』二面附。並びに大下氏の『松島の夕』を出すべく、丸山晚霞氏の渡歐所見、渡部審也氏の尾の道寫生等木版として挿入さるべし。

□本誌は漸次内容を改めし結果、近來大に部數を増し、經濟上に多少の餘裕を見るべき見込につき、九月號より每號原色版四枚を挿入し、日本水彩畫會に於ける新進作家の逸品を漸次掲出すべし。

□本會同人眞野紀太郎氏は、先頃より病氣入院中につき、桂淵畫會の製作は多少遅延すべく、また特別讀者にして同氏の作を望める方には當分御猶豫を願ふ。

□本誌八月號送り先變更の方は二十日以

前に御通知ありたし。

□會友諸君よりの批評畫は本月五日迄に送られたく、然らざれば九月迄其儘お預りするの止むなきに至るべし。

□會友にして文房堂割引券御入用の方は郵券を添へて申出でられたし。

□日本水彩畫會研究所は、七月中旬より九月初旬迄夏期休業につき、其間の御用の方は春鳥會へ申出でられたし。

□本會にて取次せる太平洋畫會第九回展覽會カタログは、送料共一部金五十錢なり、右割引價格未定のころ注文され、取次送付せし二三氏よりは、たしか六十錢申受けたりと覺ゆる故、六十錢拂込みし人は、他日誌代送金の際過剩十錢差引送られたし。

## 水彩畫夏季講習會規定

### 第一部

- 一、會場 未定(松江市内)
- 一、會期 八月五日ヨリ一週間
- 一、課目 墨繪及水彩畫ノ講話、室内及戸

### 外寫生ノ實習

- 一、講師 大下藤次郎先生
- 一、會費 記名料金五十錢(申込ト同時ニ徵收スルモノニシテ會員出席セザルトキト雖モ返還セズ)會費金壹圓(講習開始ノ日徵收)
- 一、宿泊料 本會ニテ指定セル旅舎末次本町日出館ノ宿泊料ハ一日五十錢以内
- 一、申込所 松江市末次本町奥村芳夫(主催者)方
- 一、申込期限 七月十五日マデ(但期限後ハ入會ヲ謝絶スルコトアルベシ)
- 本會指定の旅舎に宿泊希望の方は豫め申込み置かれたし。
- 會員の携帯すべき器具は、一墨繪ならば畫學紙、畫板、消ゴム、小刀、HB印、BB印鉛筆、留銀四個、水彩畫ならばワットマン紙、繪具箱、畫板、HB鉛筆、水筒、木綿一尺、尙室外寫生用として成るべく三脚床儿の類を携帯せられたし、但繪具は少くも左の諸種を用意ありたし。  
チャイニスホワイト。パーントシンナ。ガンボーヂ。インヂゴ。レモンエロー。